４月１６日　　**テーマ：イサクの結婚**

聖書箇所：創世記２４章３２節～６４節

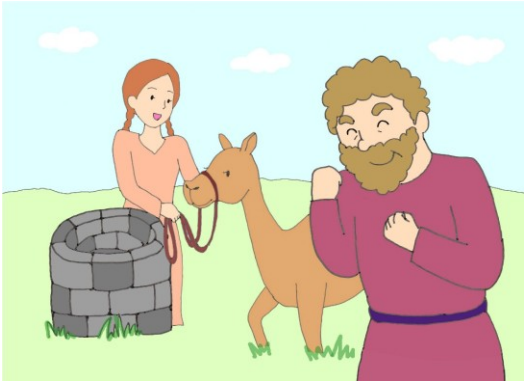
◆今日のみことば

“言った。「私の主人アブラハムの神、【主】がほめたたえられますように。主は私の主人に対する恵みとまことをお捨てにならなかった。【主】はこの私をも途中つつがなく、私の主人の兄弟の家に導かれた。」”創世記２４章２７節

◆メッセージ

お父さんとお母さんが結婚した時の話を聞いたことがありますか。お父さんとお母さんに話してもらいましょう。この結婚によって、今の皆さんが存在するようになったわけですから、お父さんとお母さんが結婚したことに感謝しましょう。

アブラハムさんは、息子イサクさんの結婚のことを祈っていました。イサクさんの妻となるものの条件は、信仰が全然違うカナン人の娘ではなく、信仰が似ている親族の娘の中から選ぶことでした。結婚は二人が一つになることです。結婚相手の影響は大きいものです。ですから、結婚相手を選ぶときに、一番先に確認すべきことは、同じ信仰を持っているかどうかなのです。金持ちなのか、美人なのかではなくて、自分と同じ神を信じている者を選ぶときに祝福される結婚となります。アブラハムさんは、しもべをカランの地に遣わして、イサクさんのお嫁さんを連れてくるようにと言いました。でも、たくさんいる女の人の中で、どの人？しもべは祈りました。「『らくだにも水を飲ませましょう。』と声をかけてくれる娘さんに会わせてください。その人こそイサクさんにふさわしい優しいお嫁さんになるでしょう」。出会いも、神さまのみ手の中にありますね。



すると、そこに一人の女性が来て声をかけました。それが、リベカさん。なんと、アブラハムさんの親せきでした。アブラハムさんのしもべは、リベカさんの家に案内してもらい、早速、旅の理由、神さまの導きを説明しました。その話を聞いて、リベカさんは、神さまの導きに従ってイサクさんと結婚する決心をしました。まだ一度も会ったことがなくても、神さまが導いてくださっているのですから、安心です。こうして、イサクさんとリベカさんは結婚しました。

皆さんもいつか結婚するでしょう。今から、楽しみに祈りましょう。祈りは具体的に。神さまは父なる神ですから、子どもである私たちの祈りを必ず聞いてくださいます。神に祝福される結婚生活を送るためにも、神が喜ぶ結婚を祈りましょう。

◆お祈り

「神さま、両親の結婚を感謝します。私も神さまに喜ばれる結婚をすることができますように。」

（小湊キリスト福音教会牧師　張賢國）